

対象者：R2年度利用者利用者 30名 回収数28名（回収率93%）無回答は数値に含んでいないため回答数と一致しません

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	5		3	・少しスペースが狭いかもかもしれません。大人だからそう感じるのかも？ ・私自身は狭いと感じるが、子どもにとっては丁度良いのかなと思う。	（室内環境を整えたり、天気の良い日は公園に行くなど外出する活動を行うようにしています）
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25			3		（玄関に職員配置を掲示していますのでご確認ください）
	3 生活空間は、 <u>本人にわかりやすい構造化された環境*1</u> になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	2		2	・今年度はコロナ対策もあって一緒に通えなかったのであまり中の様子が見えませんでした。	（エリアごとに活動をわけ、その場所で行えばいいか分かるように視覚的に提示しています） （コロナ禍ということもあり、母子通の制限のご協力ありがとうございます。コロナ対策のうえ、帰りの会などぽけっとでの様子を見ていただけるよう、お迎えの際に声をかけさせていただく機会を設けます）
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25			3	・子ども目線で工夫された空間になっていると思います。	（エリアごとに活動をわけ、その場所で行えばいいか分かるように視覚的に提示しています）
適切な 支援の	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	26	1		1		（日々の家での様子等をお伺いし、一緒に確認しながら作成できるよう努めます）
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22			5		（個別支援計画の面談の際に、より丁寧にご説明いたします）
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	1		3	・今はまだ「慣れること」がほとんどかなと思います。	（個別支援計画の作成時に、個別にご説明させていただきます）

提供	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	23			5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外遊びなどが少ないと思う。コロナの恐れがあるので仕方がない。</li> <li>・おもちゃも新しい物が加わったり遊びがひろがりました。</li> </ul>	(例年に比べるとコロナ対策で外遊びが少なかったと思います。来年度はコロナ禍でも楽しめる活動を考えていきます)
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	1	4	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ入ったばかりなので分かりませんがそういう機会があれば嬉しいです。</li> <li>・保育園に行ってますので、問題ありません。</li> </ul>	(今までは地域のイベントに参加し交流の機会を持つように努めていましたが、今年はコロナ対策でできていません)
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	1				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	24	2		2		(丁寧に説明するように努めます)
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	18	5		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ渦の中、研修会をして下さってありがとうございました。ズームでの研修は仕事で参加できなかったですが、新しい形の研修会を企画していただいて感謝しています。</li> <li>・重松先生の研修が分かりやすく勉強になります。無料で受けられ助かります。またお願いします。</li> </ul>	<p>(母子で通所する特徴は、お子様の「できた」をその場で共有でき、困り感を一緒に考え成長を共に見守れることと思います。これもペアレントトレーニングの一環と考えています)</p> <p>(オンラインでの研修会や保護者サロンを開催しております。ぜひ、ご参加ください)</p>
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	26	1		1	・いつもありがとうございます	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行なわれているか	25	2		1		(半年に一度機会を設けておりますが、希望があれば随時面談させていただきます)
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5		16	・今年度はコロナで難しかったと思います。	(保護者学習会・サロン、説明会等実施していますので是非ご参加ください)	

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26			2		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	1				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	3		6	・ホームページは見たことないです	(ほけん便りやホームページで日頃の様子もお知らせしています。自己評価の結果も事業所内の掲示やホームページに掲載しておりますのでご覧ください)
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	26			2		(日々、言動など振り返りをしていますが、引き続き注意します)
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19			9		(事業所内にマニュアルを常設しております)
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1		18		(災害に備えた訓練を定期的に行っています。情報の発信に努めます)
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26	1		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は不安がってましたが今はもうすっかり慣れて本人もとても楽しそうです。</li> <li>・いつぼけっとに通所するのかカレンダーを見て確認しています。通所日をカレンダーに記入しておいてほしいと動作(身ぶり手ぶり)で言ってきます。</li> <li>・一番安心して過ごせる場所のようです。</li> <li>・間が空くと嫌がっています。</li> </ul>	(何をするのかわからないときは不安で泣いてしまうお子さんたちもわかると安心。その『わかる』が何なのかをご家族の皆様と一緒に見つけていけたらと思っています。)

満足度	23	事業所の支援に満足しているか	28			<p>・スタッフは皆優しくて安心して預けることが出来ます。いつも本当にありがとうございます。</p> <p>・大満足！感謝しています。</p> <p>・楽しいようで通所の後はいつも楽しかった？と聞くと嬉しそうになづきます。</p> <p>・今年度も楽しく通わせていただきました。ありがとうございます。コロナの中感染症対策等様々な配慮をいただいた中で安心して利用することができました。保護者の学びとなる研修会は毎年楽しみにしています。これからもできる限りの中で行っていただけるとありがたいです。いつも感謝の気持ちで一杯です。</p>	<p>(有難いお言葉ありがとうございます。また、送迎やお弁当の準備など、いつもありがとうございます。これからも、子どもたちの成長をご家族の皆様と共に見守ることができたらと思います。どうぞよろしく願い致します。)</p>

\*1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3「活動プログラム」は、事業所の日々に支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4「ペアレントトレーニング」は保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。